

S&Uだより

safety & useful 発行 No288

2021年11月10日

(株) マルジン

福井 TEL 0778-27-7200 FAX0778-27-7201

名古屋 TEL 0586-81-1895 FAX0586-81-1896

新潟 TEL 0258-94-5772 FAX0258-94-5773

福島 TEL024-983-3970 FAX024-983-3971

これから どうなっていくのだろう？と思えるほど増加した 日本のコロナ感染者数も 10月減少が加速し「異常だ」「隠ぺいではないか？」と言われるほど あれよあれよという間に 一日の全国感染者数は 100 人台となり 今年一番の低い人数となりました。「驚くべき成功」なのか？「不自然、ミステリー」なのか？手放しでは喜べないのが本音のところでは。減少の理由は解明できていませんが、以下の事が言われています。

【感染拡大要素がなくなった】 7 月下旬から 8 月にかけての夏休みや連休、お盆休みといった人の移動が活発になる要素が集中する時期が過ぎ、要素がなくなったことが減少の背景にあると考えられています。

【医療危機伝わり感染対策】 感染しても医療機関で受け入れられなくなって、自宅での待機を迫られたり、自宅で亡くなる人が出たりするなど、医療が危機的な状況に陥ったことが広く報道されたことで、危機感が高まり、一般の人たちがさらに感染対策に協力するようになったと分析されています。

【夜間の人出減少】 感染が拡大しやすい繁華街での夜間の人出が、たとえば東京都では、8 月中旬ごろから先月下旬の 1 か月余りにわたって 4 回目の緊急事態宣言が出される前の 7 月上旬に比べて 25%から 40%ほど減少した状態が続きしました。

【ワクチン接種の効果】 2 回のワクチンの接種を終えた人は、政府のデータで 8 月上旬の段階では全人口の 30%ほど、高齢者では 80%ほどでしたが、先月中旬には全人口の 50%を超え、高齢者では 90%近くになっています。

【天候の影響】 気温や雨などの影響を受けた可能性も指摘されています。

尾身会長は「科学的な根拠はまだない」としながら、気温が下がって屋外での活動がしやすくなり、感染が起きやすい狭い空間での接触の機会が減った可能性がある」と指摘しています。

そして 冬に向けて ある仮説が報じられています(米・「ニューヨーク・タイムズ」紙が報じました。)

「減少の理由は解明できていませんが、新型コロナウイルスの感染者数は 2 カ月間増加し、2 カ月間減少していて、“不思議な 2 カ月のサイクル”がある」・・・ということは 11 月にまた増加に転じ 第 6 波があるのでしょうか？

専門家の多くは、いずれ感染再拡大が起こり、第6波が来ると予想しているようです。では、いつ頃その傾向はあらわれるのでしょうか？一般的にコロナウイルス感染症は温度や湿度といった気候の変化で流行の度合いが変わることが知られています。実際、北半球の日本で季節性インフルエンザは、気温が低下して空気が乾燥する冬から春にかけて流行しています。新型コロナ感染症の新規感染者数の推移を示すグラフを見ると同じような傾向が見てとれるようです。昨年の9、10月は新規感染者数は比較的少なく、11月5日には1000人を超え、そこから増えて第3波に突入したことがわかります。感染してから体内にウイルスが増殖する時間を考えると 10 月最終週あたりから 11 月初旬にかけて感染が増えていった可能性があると言われています。「これから寒くなると窓を開けずに『3密』になりやすくなり、のどや鼻の粘膜が乾燥して、免疫力が落ちたりして感染しやすくなります。手洗いやうがいをしっかりして、なるべく厚手の衣類で寒さを防ぎ、マスクをしっかりすることが大切です。自宅や職場で暖房を使う際は換気に注意しましょう。部屋の対角線上の2カ所の窓を開けるとスムーズに換気ができます。対角線上に窓がなければ換気扇を使うのも手です。湿度管理も大切でエアコンの風があたる場所に加湿器を置き、部屋の隅々まで水分が届くようにするといいいでしょう」いずれも、昨年も強調された基本事項だが、忘れていたり、「もういいんじゃないか」と先行きを楽観する人もいるはず。しかし、経済再生のため社会的な規制が緩和されたとはいえ新型コロナが死滅したわけではないのです。ワクチンを打っても ブレイクスルーで 感染して亡くなる人もいます。感染リスクが高く、重症化しやすい65歳以上はとくに、「またか」と思わず、しっかり基本事項を守ることだと思います。みんなで気を付けて「消滅の奇跡」を達成できればいいですね。

マルジン 11 月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

＜申し訳ございません、立て込んでおります＞

マルジンは 只今、大変混みあっております。ご依頼を頂戴しても「すぐに」というお話はお断りする場合も・・・！
申し訳ございませんが
余裕を持っての早目のご依頼を
今一度お願い申し上げます。

2021 年 11 月第 287 回は～モノレールSOS 2021～について

2021 年のモノレール現場からのSOSをピックアップさせていただきます。お客様も当社も 例年以上に忙しくさせていただき、資機材も投入に次ぐ投入であっても足りなくなるほどの現況で 現場からのSOSも「急ぐあまりのうっかりミス」や「確認不足の意思疎通」等が増えミスが重なれば人命にも及ぶこともあることを 今一度考えていかなければならないと思う次第です。

連絡「モノレール終点の高さを変えてほしい」

対応「現場に到着し 終点部を確認すると足場が組んであり その足場に合わせてレールの高さを調整してほしい(もっと低く)と言われました。現状の地面では施工が難しいため 斜面を削り設置。しかしながら この設置では前下りの角度が大きく 日々のご利用は十分注意いただくよう説明し納得していただきました。」

原因調査「現場の担当者から低くしてほしい旨伺っていて 自分では低く設置したつもりでしたが モノレール引き渡し後設置された足場の低さには ご利用の作業者的な方の低さの意識が違っていたことが原因で 高さのマークを入れるなり お互いにしっかりと確認していきましよう」と話をしました。」

連絡「単管をモノレールにぶつけてしまい 破損した」

対応「マフラー取り付け部の部品が破損していたので新しい本機に交換。試走したところ レールの返りが酷いところがあり確認したところ レールが菱形に変形していたため レール3本交換。起点部もラックがつぶれていたためレール交換した」

原因調査「本機破損は 長い単管を運んだ際に マフラー部に接触し破損した。レールに関しては フラットな部分での変形なので過積載と片荷によるものと思われる。お客様が認めてくださっているのは信頼の証と考え、今後も過積載、高荷、片荷での走行はしないように注意喚起を行うこととする」

連絡「なし」

対応「依頼されていた張替の作業で現場に伺ったところ 台車のローラーが大きく開いた状態で 側板やシャフトもまがっているためローラー調整もできず、会社に連絡しローラーを届けてもらいようやくモノレールを動かし作業に入った。ルート何カ所かレールが返り分岐の中子レールも変形しているため 分岐修理 レール修理・補強などを行った」

原因調査「ご利用のお会社の担当者には 200k積みなので一度に運べる重量は必ず守ってほしいと十分お願いしたつもりだったが 別の足場の会社の作業員が 過積載走行をされていたようで 分岐も交換レールのネジを締めずに走行し変形した模様。ともかく使用者全員への安全作業への周知が必要で 取扱説明講習などを通じて 根気強く繰り返し注意していくようにしたい」

連絡「本機のセルが回らない」

対応「電話にてキースイッチをONにして、リコイルでかけてもらおうとかけたが、バッテリーの疑いもあるため点検もかねてすぐに伺うようにした。現場でキーを回すと まったく反応しなかったため、走行レバー下側のリミットスイッチを確認すると、ワイヤー止め部に引っ掛かりまがっていたので修理しました」

原因調査「マルジンのモノレールは今回五回目ご利用のお会社でもあり 取り扱いには十分理解されていると思い込んでいたので、まさか 安全装置の誤操作とは思っても及ばず、セルが回らない＝バッテリー上がりと思い込んでしまった。リミットスイッチ(安全装置)の説明不足だったと思えるので 今後は説明の工夫や 慣れていると思われる人にも再確認の説明等を行うようにしたい」

2000k重量物モノレール**連絡「起点から 10mほど登ったところで、モノレールが止まった。エンジンはかかるが動かない」**

対応「その日のうちに伺いガバナ確認し解除。メーターリレー再調整。本機から運転台車に向かう配線のつなぎ直し。マグネットの位置でちゃんと止まるかセンサーの確認し 様子を見てもらう。その後症状は出ない」

原因調査「重量物モノレールの最終配線の際に 200V回路の養生が不完全で ショートするとブレーカーが落ち過負荷でガバナ不正挙動等も考えられるため 配線やり直し養生をしっかりと固定した。その後 同症状が出ないことからマルジンの作業不足と考えられる。自分に過度な自信を持たず慎重に丁寧な作業をしなければならぬと反省及び全社にクレームの周知をする。配線のビニールテープ養生は 結束部が完全に隠れる様に作業をする。」

連絡「エンジンのかかり具合が悪い」

対応「燃料タンク内に砂など溜まっていたので抜き取りプラグも新品に交換。水抜き方法の手順説明。」

原因調査「社内点検時には 燃料タンク内のチェックはしているので 現場にて水が入ったと思われる。雨が降り続いていた時に給油して水が混入したと思える。なるべく雨ふりを避けて給油、雨の中で給油する場合は雨が入らないよう保護する。水抜き手順書を作成し レンタル開始・安全注意事項の書類とともにお渡しします。」

こういう事例は 一年ごとに集計をしています。よくある事例はお客様に繰り返しお伝えし 社内では 猛省すべきは猛省し 周知するとともに 今後の安全作業の糧にしていきたいと思えます。